

強者の戦略

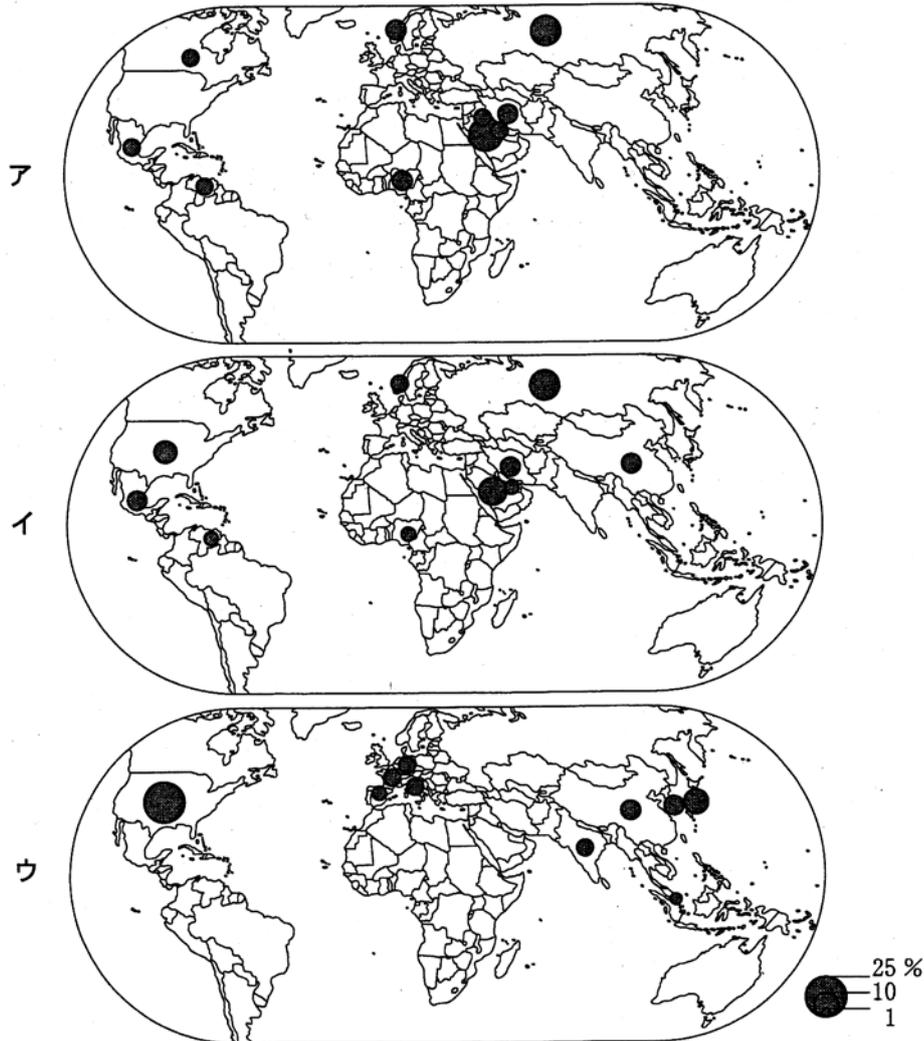
《シリーズ》もしもセンターの問題が東大

仕様で出題されたら (4)

鉱工業に関する以下の問いに答えなさい。

(2011 年度 センター試験地理B 本試験 第2問 [世界の資源と産業] 改題)

問1 次の図1中のア～ウは、原油の産出量、輸出量、輸入量のいずれかの項目について、世界的上位10か国とその全体に占める割合を示したものである。ア～ウに当てはまる項目を、ア-〇〇のように記せ。



中国には台湾、マカオを含まない。

統計年次は2005年。

Energy Statistics of OECD/non-OECD Countries などにより作成。

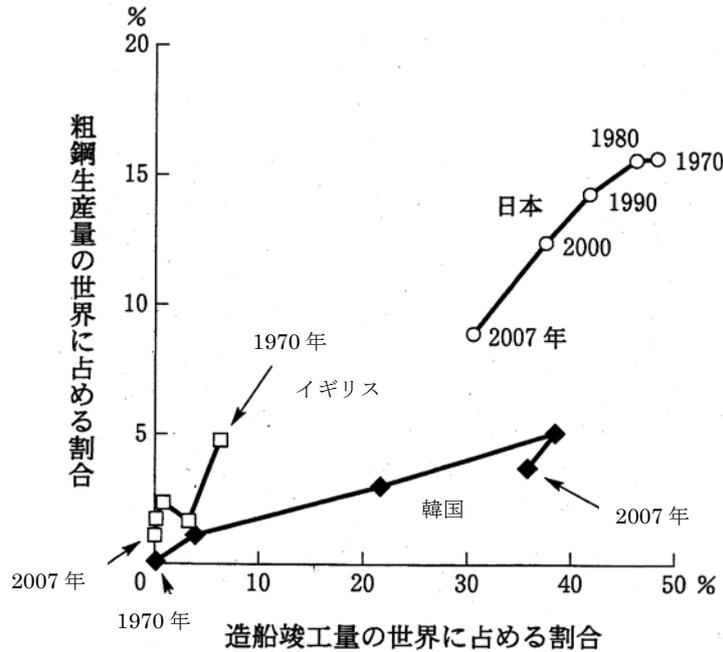
図 1

問2 問1のように判断した理由を、3行以内で述べなさい。

問3 ブラジルとカナダの発電の特徴を、地形環境に触れながら、2行以内で述べなさい。

強者の戦略

問4 次の図2は、粗鋼生産量と造船竣工量の世界に占める割合の1970～2007年の推移を、イギリス、韓国、日本について示したものである。図2を見ると、日本は1980年ごろから割合が低下しているが、韓国は1980年ごろから割合が増加している。このような結果となってしまった原因を、3行以内で述べなさい。



『世界国勢図会』などにより作成。

図 2

問5 次の表1は、原料産地に立地を指向するいくつかの工業について、生産量上位5か国とそれぞれの世界全体に占める割合を示したものであり、①～④は、砂糖、セメント、パルプ、ワインのいずれかである。③と④に該当する品目を答えなさい。また、それぞれの立地条件の違いを3行以内で述べなさい。

表 1

(単位：%)

順位	①	②	③	④
1位	アメリカ合衆国 (27.5)	中国 (47.8)	ブラジル (19.0)	フランス (17.7)
2位	カナダ (11.5)	インド (6.3)	インド (13.6)	イタリア (16.1)
3位	中国 (10.0)	アメリカ合衆国 (3.9)	中国 (7.9)	スペイン (12.9)
4位	フィンランド (6.6)	日本 (2.7)	アメリカ合衆国 (5.4)	アメリカ合衆国 (8.7)
5位	スウェーデン (6.4)	韓国 (2.1)	ロシア (3.8)	アルゼンチン (5.9)

中国にはホンコンを含まない。

統計年次は、砂糖、セメントが2006年、パルプ、ワインが2007年。

『世界国勢図会』により作成。

強者の戦略

問6 図3のM地域とK地域の工業の違いについて、下記の語句を全部用いて3行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所に下線を引くこと。

石油 高級 産学連携

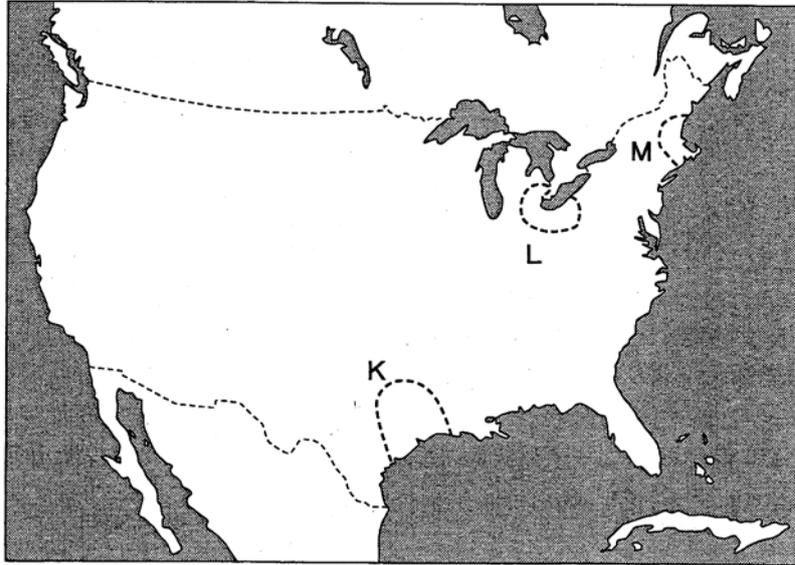


図 3